

お客様各位

このたびは Autodesk Desktop Subscription に関心を寄せていただきありがとうございます。  
Autodesk Desktop Subscription のソフトウェア認証にはインターネットアクセスが必要ですので、ご購入前にぜひお客様のネットワーク環境をご確認いただければ幸いです。  
また、ご発注いただく際に、お客様のメールアドレス情報も事前に頂戴することとなりますので、予めご了承ください。

#### ■ご購入前にご確認いただきたいネットワークへの接続確認■

- ・ **ブラウザで確認可能な URL への接続確認**  
次の URL のサイトへのアクセス確認を行ってください。  
<https://accounts.autodesk.com>  
<http://www.autodesk.com>  
<http://www.google.com>  
<https://ssl.google-analytics.com>  
<https://registeronce.autodesk.com>

■次の確認は、お客様の会社のセキュリティ設定のご確認になりますので、ライセンス管理部門の方へご確認をおねがいたします。■

- ・ cur.autodesk.com へのポート 443 を使用しての接続確認  
cur.autodesk.com はデスクトップサブスクリプション製品の Autodesk ID の認証に必要なアクセス先です。  
この URL の接続が可能かの確認を行います。

telnet を使用しての接続確認手順

1. Windows の[スタート]-[プログラムとファイルの検索] で cmd と入力し、ENTER キーを押します。
2. コマンドプロンプト内で次のコマンドを入力して Telnet を有効にします:  
pkgmgr /iu:"TelnetClient"  
次のリンクの Telnet のインストール方法でもかまいません  
<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/telnet-faq#1TC=windows-7>
3. ダイアログが表示される場合は、[OK] や [続ける] などのボタンをクリックして先に進めます。

#### 重要：

上記 URL に接続できない場合は、お客様の会社のセキュリティの設定（ファイアウォールやプロキシサーバーなど）でそれらがブロックされているかどうかを確認してもらい、必要に応じてサーバサイドでの例外設定などを行っていただく必要があります。また、企業のネットワークセキュリティ設定は、通常ブロックすることを前提で設定されていると考えるべきであり、設定画面上では明示的にこれら URL がブロックされていないと、あえてブロックの除外設定を行っていただくことが必要と考えてください。

【参考】 上記の接続確認 URL をプロキシサーバーでのブロック除外設定に組み込む際のアドレス（ブロック除外対応をしていただきたい3つのURL）

- \*.autodesk.com
- \*.google.com
- \*.google-analytics.com

また、Desktop Subscription 製品の使用を確実なものにするために、次のリンク先の「プロキシサーバを利用している場合」の項目をシステム管理部門へ事前に確認してもらうことを推奨します。

[http://tech.autodesk.jp/faq/faq/adsk\\_result\\_dd.asp?QA\\_ID=9173](http://tech.autodesk.jp/faq/faq/adsk_result_dd.asp?QA_ID=9173)

4. コマンドプロンプトが再び表示されれば、Telnet のインストールは完了しているのでコマンドプロンプトを閉じます。
5. 再度、コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを入力して Enter キーを押します：  
telnet cur.autodesk.com 443
6. エラーなどが発生する場合は、Telnet を利用可能にするためにコマンドプロンプトの終了/起動を数回繰り返します。  
エラーなどが何も表示されず、カーソルが点滅状態になっていれば正常に接続できています。

#### ■その他 有用な情報■

以下の情報も参考にしてください。

[Anti-Virus アプリケーションに対する技術情報](#)

[Desktop Subscription 製品を起動したときにアカウント情報を入力するためのダイアログが表示されない問題 \(Fiddler\)](#)

#### ■Infraworks 360 特有の事項■

Infraworks 360 では、上述したプロキシサーバーでのブロック除外 URL の 3 つに加えて、次の URL をブロック除外 URL リストに加えることで起動 (Login) できる事例が報告されています。

- \*.akamaiedge.net
- \*.akamaintechologies.com
- \*.amazonaws.com
- \*.autocadws.com
- \*.cloudfront.net
- \*.edgekey.net
- \*.getsatisfaction.com
- \*.microsoft.com
- \*.msecnd.net
- \*.newrelic.com
- \*.nr-data.net
- \*.velasystems.com
- \*.virtualearth.net